

人権の大切さ



岡部中学校2年 尾島 佑

私は、人権の学習で校長先生のお話を聞いて、「いじめ」は、命にかかわるほど大変なことになってしまふ場合があることがわかりました。一人の人間の何気ない言葉や行動で「いじめ」という差別が始まり、もしかしたら窮極の差別である「戦争」にまで発展してしまうことがあるなんて考えてもみませんでした。そうやってしまわないうようにするには、どうすればよいか私は考えました。

一つ目は言葉を大切にすることです。私は両親から、「自分がイヤだと思ふ事は他の人もイヤなんだよ。」とよく言われます。妹とケンカをしたときなど、「言われたらイヤだな」と思う言葉が、思わず口に出てしまうことがあります。言ってしまった時、妹は今にも泣き出しそうな顔をしています。口にした私もとてもイヤな気持ちで、私の方も泣きたい気持ちになってしまいます。家族の間では、すぐに謝ることができず、これがもし、友達だったとしたらと思うと、怖くなります。言葉には、人を楽しい気持ちや、嬉しい気持ちにしてくれるプラスの力や、その反対に、心を深く傷つけてしまうマイナスの力もあります。そんな大切な言葉だから自分の感情だけでもの言ったりしてはいけません。自分の大切な人が、悪口を言われていたらどうでしょうか。とても悲

譲葉の賦

⑥ そして江戸へ

文政七年（一八二四年）閏八月、鴻巣の旅籠に落ち着いた儀八は、懐から一通の書状を取り出し、この一か月の出来事を思い返していた。「儀八さん、あんたずいぶん勉強家だそうじゃないか。なんでも、この家の書物を全部読んじまったんだって。」斉藤家の帳場で帳簿の整理に追われる儀八に、金井鳥洲がそう声を掛けたのはちやうど一か月前であった。「はい、この三年で全て読ませてもらいました。」「そうかい、それじゃあ、もう江戸に出るしかねえな。」「江戸へ……」「そうさ、江戸はすげえぞ、まあ、これ以上やるなら江戸しかねえな。」「江戸かあ、そういや仁山先生にも同じような事を言われたことがありましたよ。」「鳥洲にとっては何気ない会話であった。しかし、儀八はこの時初めて、江戸遊学を目標として意識したのである。一度心に灯った江戸遊学への想いは、その後も消えることは無く、そればかりか日増しに強く、大きく燃え上がり、十日前のあの日へと繋がる。その日、儀八は明らかに眠れなかったことを示す真つ赤な目を擦りながら、家族の前に現れた。そして唐突に江戸へ行くことを宣言した。

桃井可堂伝

ながら、家族の前に現れた。そして唐突に江戸へ行くことを宣言した。この決意を聞いた勘助と安兵衛は、儀八を翻意させようと説得に努めた。このため、最後まで反対していた安兵衛もついには「もし江戸で成功することができれば、土下座してやる。」と笑って語り、儀八の江戸遊学を認めざる得なかつた。また、儀八にこの決意をさせるきっかけを作った鳥洲は責任を感じたのか、江戸での修行時代に師匠の谷文兎を通じて面識のあった儒家東条一堂への紹介状をしたため、儀八に手渡した。とにかくこの十日間は、儀八の二十二年間の人生の中でも、一番の慌しさであった。そして、今朝、江戸へ出立する儀八に、父守道は黙って路銀を握らせ、見送ってくれた。儀八はこの父の汗と涙の滲み込んだ一分金に「事ならずば、死して帰らず」と誓い江戸を目指したのである。儀八は江戸へ向かう途上の旅籠で、疲れきった体を薄く湿っぽい布団に包み、人生の転機とも言える決断をしたこの一か月に思いを馳せ、自らの人生に若干の可笑しさを感ぜながら、束の間の眠りについた。

夢 ながるべからず

バード 238 さん

エンジン全開、ガッツで勝負



天下第一

場からは、楽しそうな笑い声が響き渡っている。そして、数メートル先の舞台では、客の前にネタを披露するお笑い芸人の姿が視界に入る。山吹色の道着を身にまとい、

高鳴る鼓動を胸に感じながら、近づいてくる出番を舞台の袖でじっと待つ。「お笑い」という、長く険しい道歩み始めた青年がいる。お笑い芸人「バード238」、彼は今、天下第一の芸人目指して、修行中である。



ドラゴンボールのネタをするバード238

1つの答え

幼いころ、かわいいと言われるのがうれしくて、自然と大人の気を引く行動を取るようになった。

このころ芽生えた「目立ちたい」という気持ちは、岡部西小・岡部中・高校と、成長するにつれて強くなり「有名になる」という目標が変わっていった。芸人はまだ2年に満たない。芸人としての収入は、月に数回のライブのギャラのみ。今は窓拭き清掃のアルバイトをしながら舞台に立つ。

舞台上立てば若手といえども一人の芸人。与えられた数分間を、最高の笑いの時間にするため、全力で体を動かす。「どうしたら笑わせることができるか」という、シンプル故

成功の先

に難しい問題の答えを導き出すために、これからも試行錯誤を繰り返す。 月 並みな夢かもしれないが、サンクラスを掛けて街を歩き「もしかして……」と声を掛けられることにある。だが、その頂にたどり着くことができるのは、ほんの一握りの人だけだ。

多くの芸人が陽の目を見ることなく夢をあきらめていく世界の中で、彼は闘い続けていく。「成功の反対は失敗じゃなく、何もしないこと」だから。「それに、有名になれば親孝行ができますから」バード238は、少し照れくさそうにそう付け加えた。

夢七訓 夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに 幸福を求める者は 夢なかるべからず ※ (本文中の敬称は本人の承諾を得て省略しています)